

令和 6 年（2024 年）の秋サケの資源状況について

令和 6 年 6 月 21 日

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
さけます・内水面水産試験場 さけます資源部

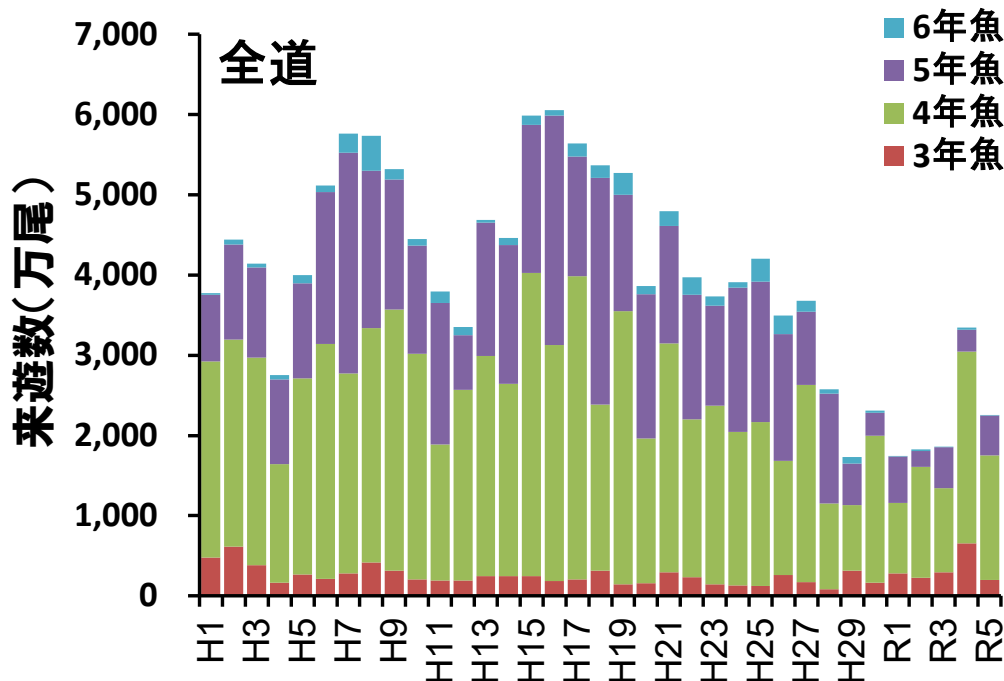


図 1 北海道への秋サケの来遊数（年齢別）の推移

令和 5 年の北海道への秋サケ来遊の特徴

○令和 5 年（2023 年）の全道への秋サケ来遊数（沿岸での漁獲数と河川での捕獲数の合計）は 2,257 万尾、前年比で 67%と大幅に減少し、平成 30 年とほぼ同じ水準となりました（図 1）。予測に対する実績の値は 65%と予測を大きく下回る値となりました。

○年齢別来遊数について、4 年魚（令和元年生）は 1,552 万尾で前年比 65%に減少し、5 年魚（平成 30 年生）は 499 万尾と前年を上回ったものの平成以降で 4 番目に少ない値となりました。3 年魚（令和 2 年生）は 200 万尾と過去 10 ヶ年平均の 75%にとどまりました。

○時期別では、前期が 914 万尾（前年対比 68%）、中期が 1,207 万尾（前年対比 67%）、後期が 135 万尾（前年対比 65%）と、前年に比べ全ての時期で減少しました。

○令和 5 年の平均目廻りは 3.02kg と前年の 2.83 kg から増加しましたが、近年では最も小型であった令和 4 年に次いで低い水準となっています。

各海区への来遊状況

○令和 5 年の各海区への来遊数は全ての海区で前年を下回り、中でもえりも以西と日本海区での減少幅が大きくなりました（図 2）。

○年齢別にみると来遊の主群である 4 年魚は全ての海区で前年を下回り、中でもえりも以西と日本海区での減少幅が大きくなりました。一方、5 年魚は全ての海区で前年を上回りました。3 年魚は 4 年魚と同様に全ての海区で前年を大幅に下回りました。

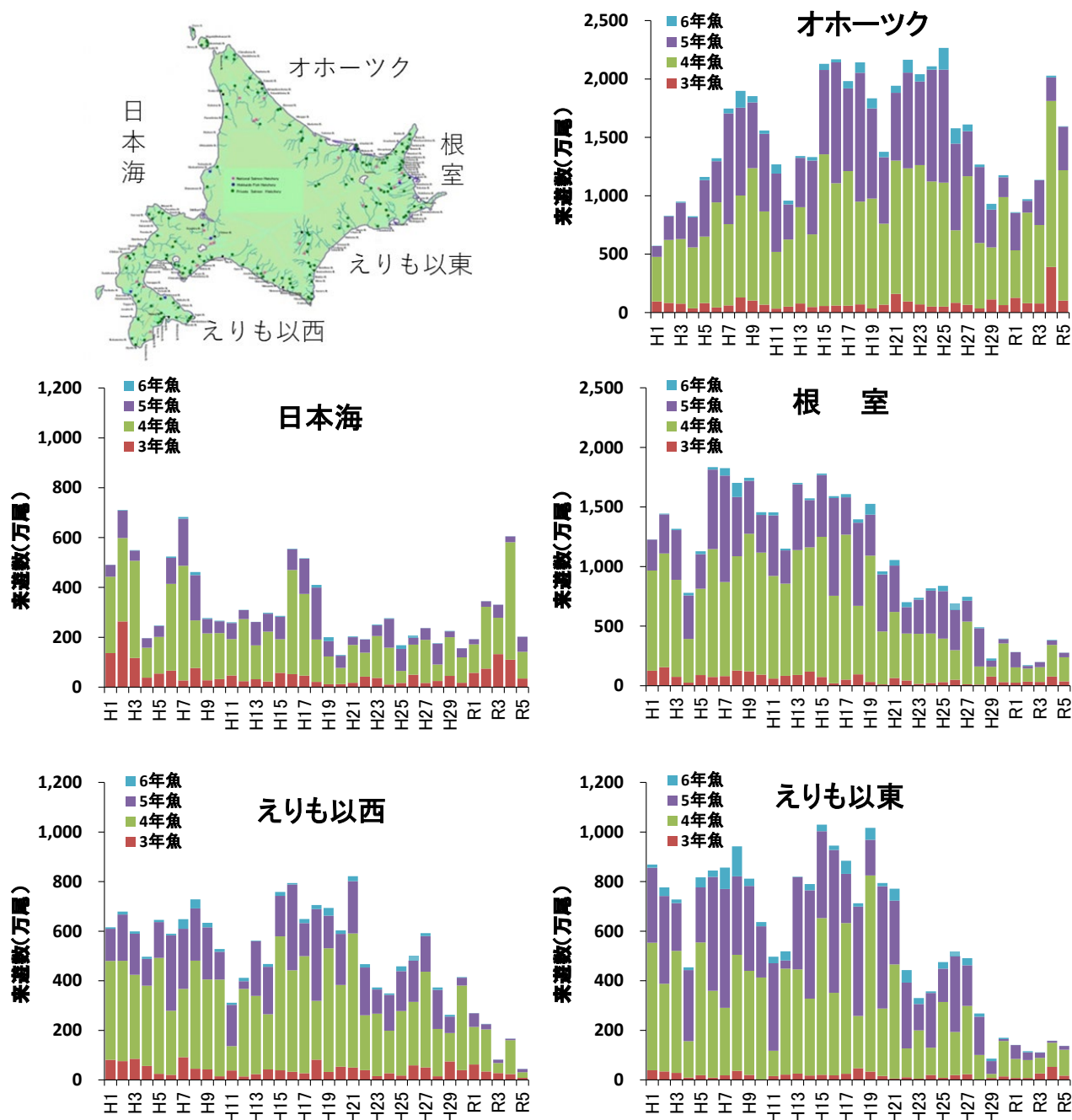


図 2 各海区への秋サケの来遊数（年齢別）の推移

今年(令和6年)の来遊予測

○これまでと同様にシブリング法を基本に来遊数を予測しました。この手法では、前年の3年魚の来遊数から今年の4年魚の来遊数を、前年の4年魚の来遊数から今年の5年魚の来遊数を推定します(図3)。

○近年、急速な成熟年齢の**若齢化**が進んだことにより、予測精度が低下していることが明らかになりました。このため、令和3年以降は**若齢年級**のデータ(図3の○)だけを使って分析を行い、予測値を算出しています。

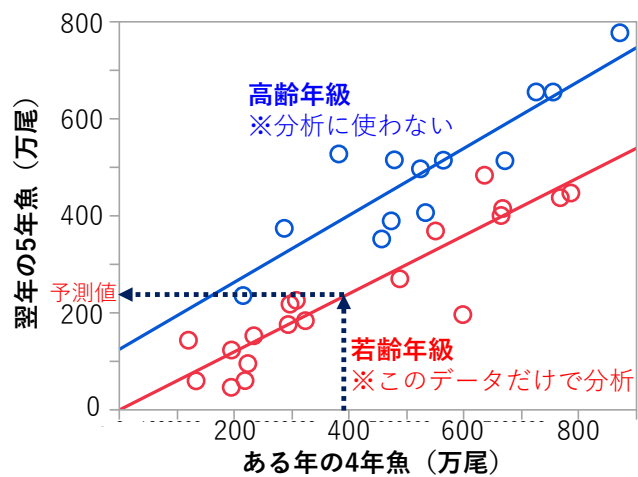


図3 シブリング法(例:A地区)

今年の予測値

令和6年(2024年)の全道への秋サケ来遊数は1,703万尾と予測しています。地区別の予測値は下表のとおりです。

海 区	地 区	令和6年 予測値(千尾)	令和5年 来遊数(千尾)	前年比(%)
オホーツク	東 部	6,195	8,615	71.9
	中 部	3,036	4,604	65.9
	西 部	2,249	2,737	82.2
	小 計	11,480	15,956	71.9
根 室	北 部	1,731	2,142	80.8
	南 部	520	628	82.8
	小 計	2,251	2,770	81.3
えりも以东	東 部	480	576	83.5
	西 部	655	802	81.7
	小 計	1,135	1,378	82.4
えりも以西	日 高	262	193	135.6
	胆 振	162	93	173.6
	噴火湾	52	61	85.2
	道 南	55	92	59.5
	小 計	531	440	120.7
日 本 海	北 部	707	853	82.9
	中 部	741	922	80.4
	南 部	184	248	74.1
	小 計	1,632	2,022	80.7
北 海 道 総 計		17,029	22,566	75.5